

市民参加でつくる公共施設の新しいカタチ

～龍ヶ崎の未来にむけて市民ひとりひとりができること～

2014年11月29日

一般財団法人 地方自治体公民連携研究財団

企画開発部長 藏田 幸三

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル2階 090-8683-4625

電話 03-5573-4261 FAX 03-5573-4490 Mail kurata@lg-ppp.jp

講演の流れ

1. 市民参加でつくる公共施設の新しいカタチ
2. 公共施設の再編成とは
3. 公共施設の新しいあり方の模索
 - ①千葉県 習志野市
 - ②埼玉県 ふじみ野市
4. 龍ヶ崎の未来にむけて市民ひとりひとりができること

1. 市民参加でつくる公共施設の新しいカタチ

【市民参加】

市民、企業、行政が、
地域一丸として取り組むこと

【公共施設】

市民の生命、生活、財産を
支える大切なもの
= 市民全員の財産

1. 市民参加でつくる公共施設の新しいカタチ

【新しい】

日本全国、どこも正解を
見つけていない課題

【カタチ】

ハードウェア（施設）

ソフトウェア（運営）

ハートウェア（意識）

1. 市民参加でつくる公共施設の新しいカタチ

百聞は一見にしかず

百見は一考にしかず

百考は一行にしかず

地域の課題解決
(まちづくり、公共施設再編成) は
最高の楽しみ

1. 市民参加でつくる公共施設の新しいカタチ

人が街をつくる

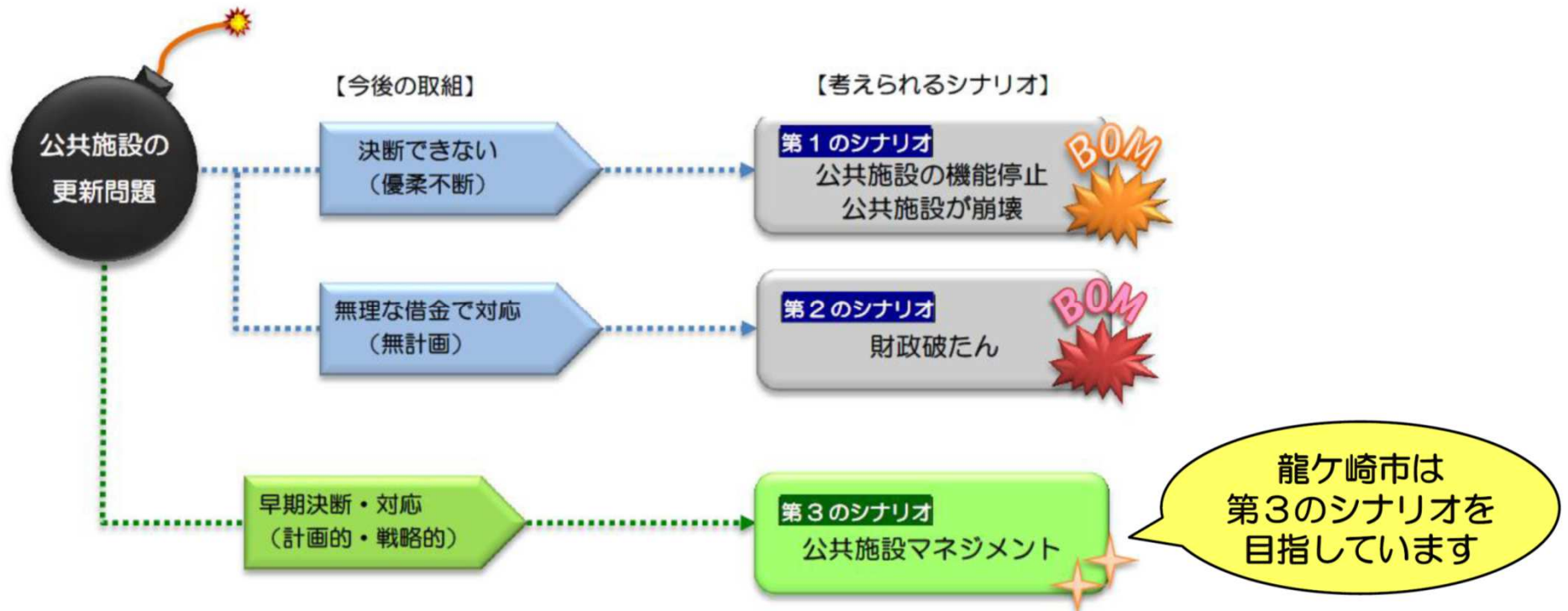
街が人をつくる

ヤンゲール（人間の街：公共空間のデザイン）

昨日より今日、今日より明日、
自分のまちがすこしよくなっていることは
心地のよいこと

ヤンゲール (2014年11月28日 プレイスメイキング・シンポジウム 東京大学)

2. 公共施設の再編成とは



現在・過去・未来の龍ヶ崎市民が幸せな暮らしをおくるために、市民全員の財産をどのように守り、育て、継承するか。

いつまでも公共施設を快適に、安全に使いつづけていく方法を考え、作りだしていくこと。

いいサービスを、リーズナブルなコストでどう作りだすか？
(地域・市民・企業の役割・知恵が最大限に生かされる分野)

2. 公共施設の再編成とは

市民が自ら考え、デザインし、行動していくことができるまち

身近な施設・サービスのあり方をつくっていくこと

龍ヶ崎市全体でいい知恵・方法をつくりだしていくこと（バランス、調整、決断）

3. 公共施設の新しいあり方の模索

いくつか参考になる事例をご紹介します。

- ①千葉県 習志野市
公共施設再生の取り組み

- ②埼玉県 ふじみ野市
オールふじみ野未来政策会議の取り組み

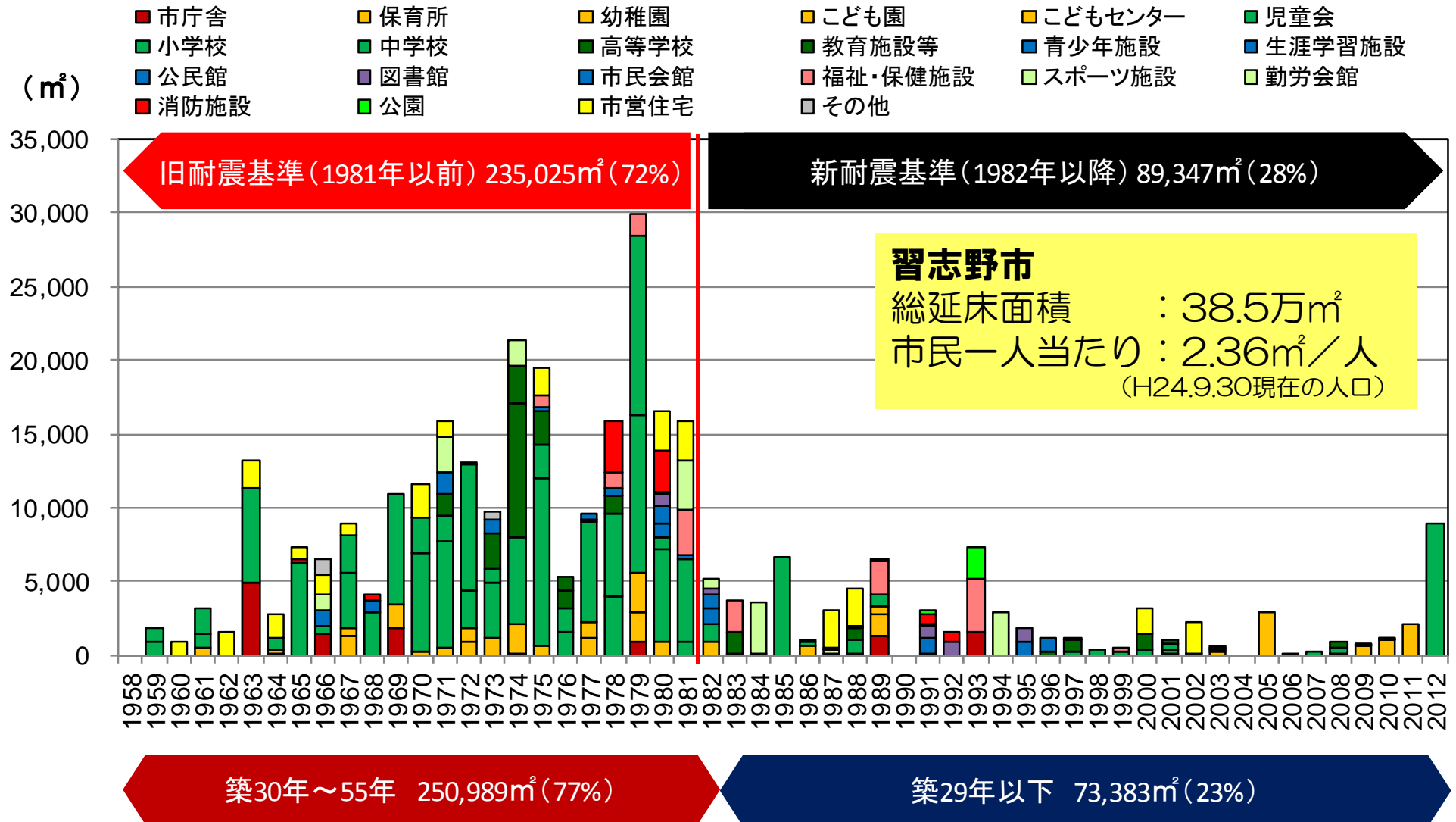
公共施設マネジメント白書の作成

→地域別の人口動態を見据えた公共施設再生へのたたき台の作成

→地域・市民とコミュニケーション

習志野市の地域性にあったカタチを模索している

習志野市の現状



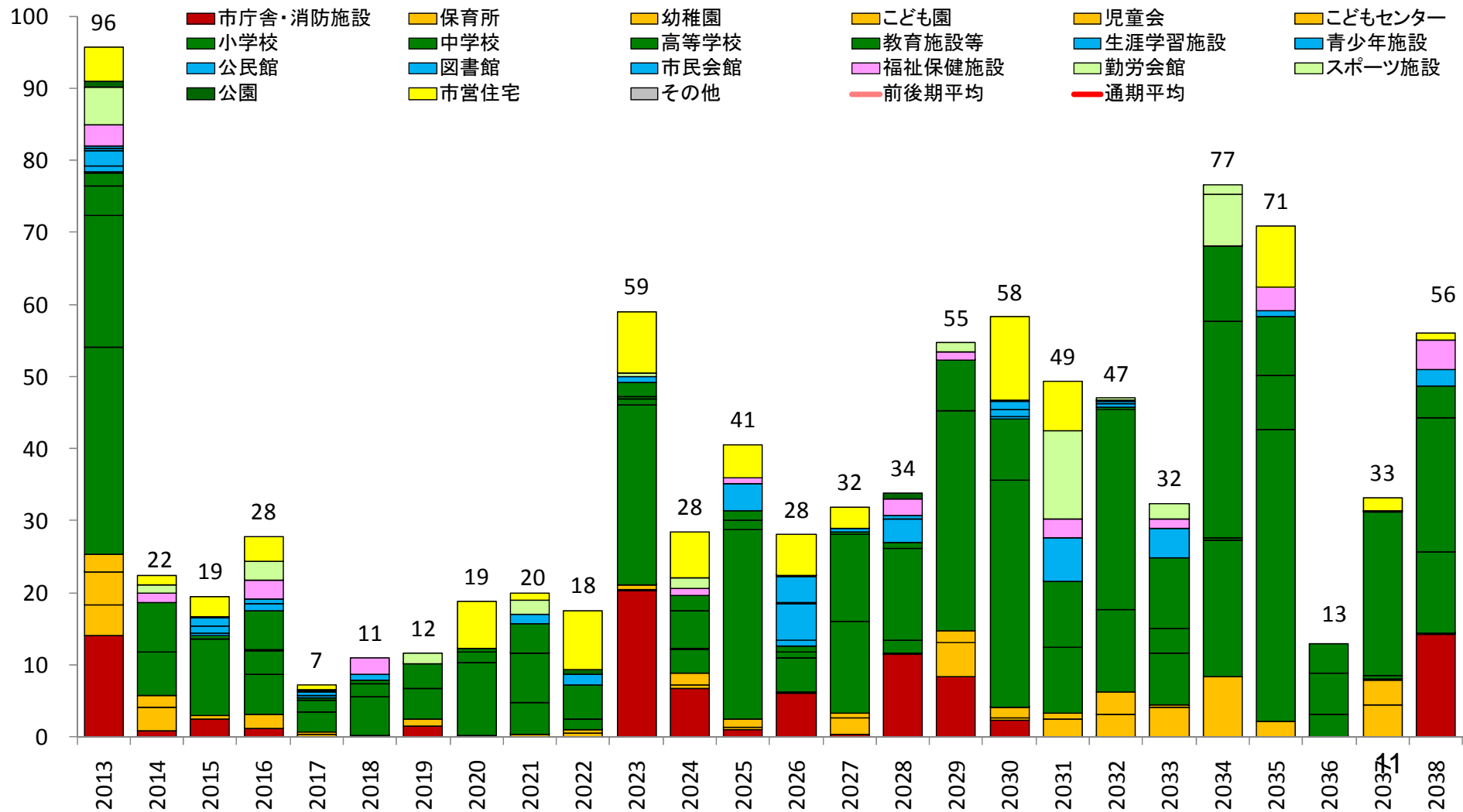
平成24年10月現在。対象外とは、クリーンセンター、リサイクルプラザ、自転車等駐車場等を指す。

(出典) 岡山県市町村振興協会 FM研究会 研修資料(2014年11月13日より)

試算の条件

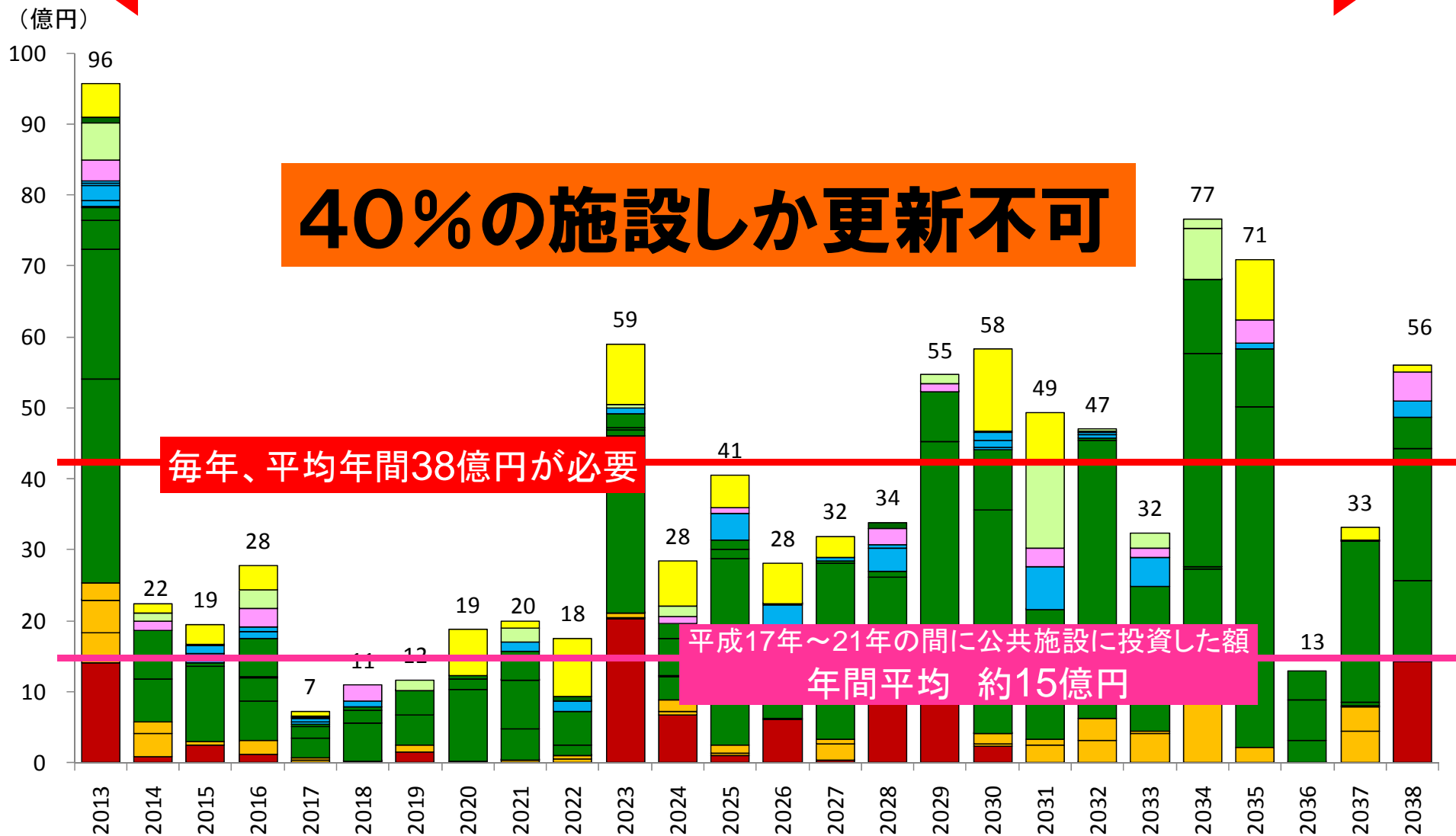
- 築60年（鉄筋コンクリート造）で建替えると仮定
- 大規模改修と建替え費用を試算（小規模な倉庫等は除く）
- 延床面積（ m^2 ）×平均単価（円）

（億円）

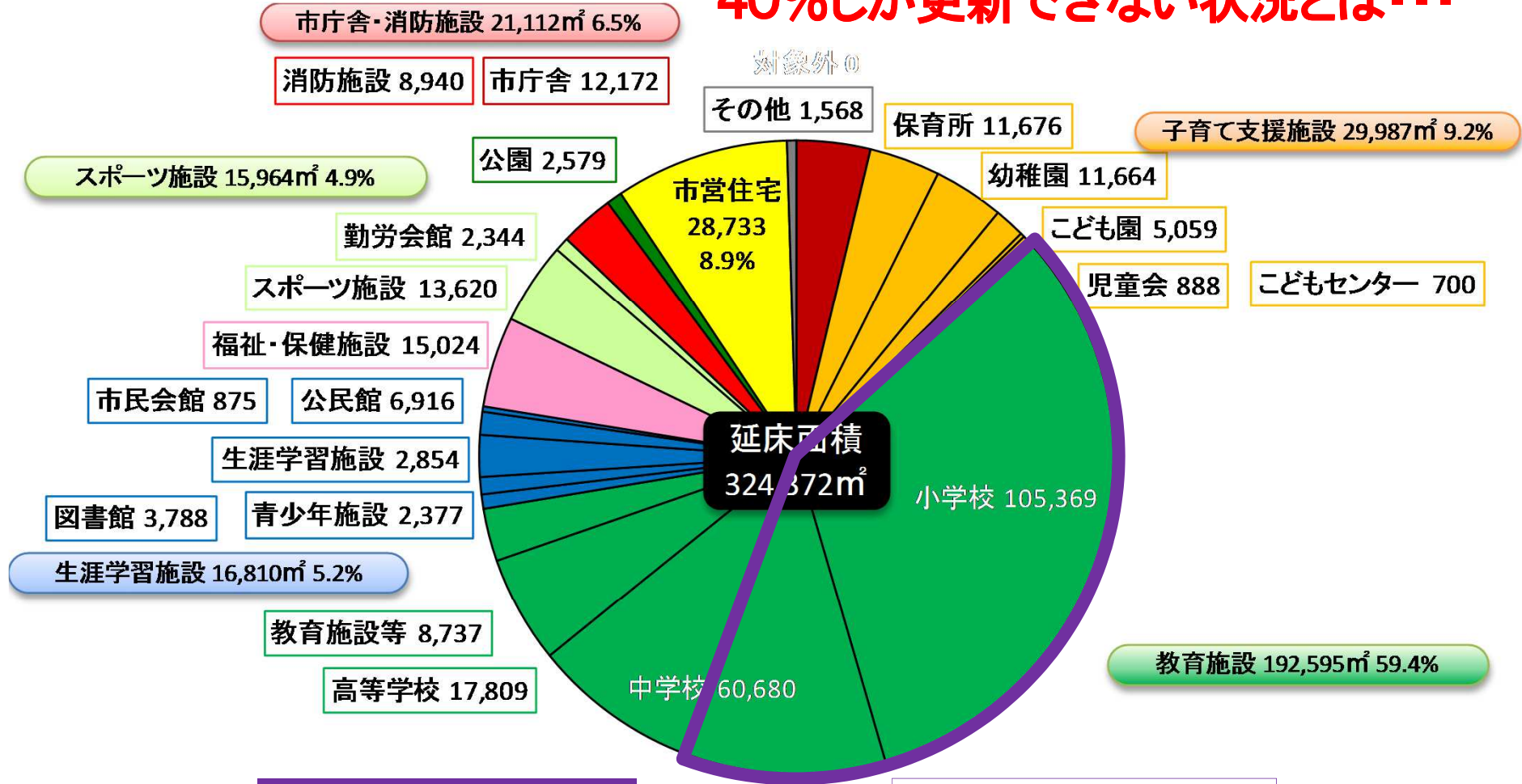


（出典）岡山市市町村振興協会 FM研究会 研修資料(2014年11月13日より)

25年間で965億円が必要



40%しか更新できない状況とは...



教育施設の総面積が
59.4%



40%
の施設しか更新不可

平成25年3月現在

市内に一つまたは数施設あり、全市民が利用する機能あるいは全市民のために存在する施設。

全市利用施設は、これまでと同様に「エリア分散型」の考え方に沿って、配置していく。

全市利用施設



コミュニティごとに配置され、施設が所在する地域の市民が、主に利用する施設。

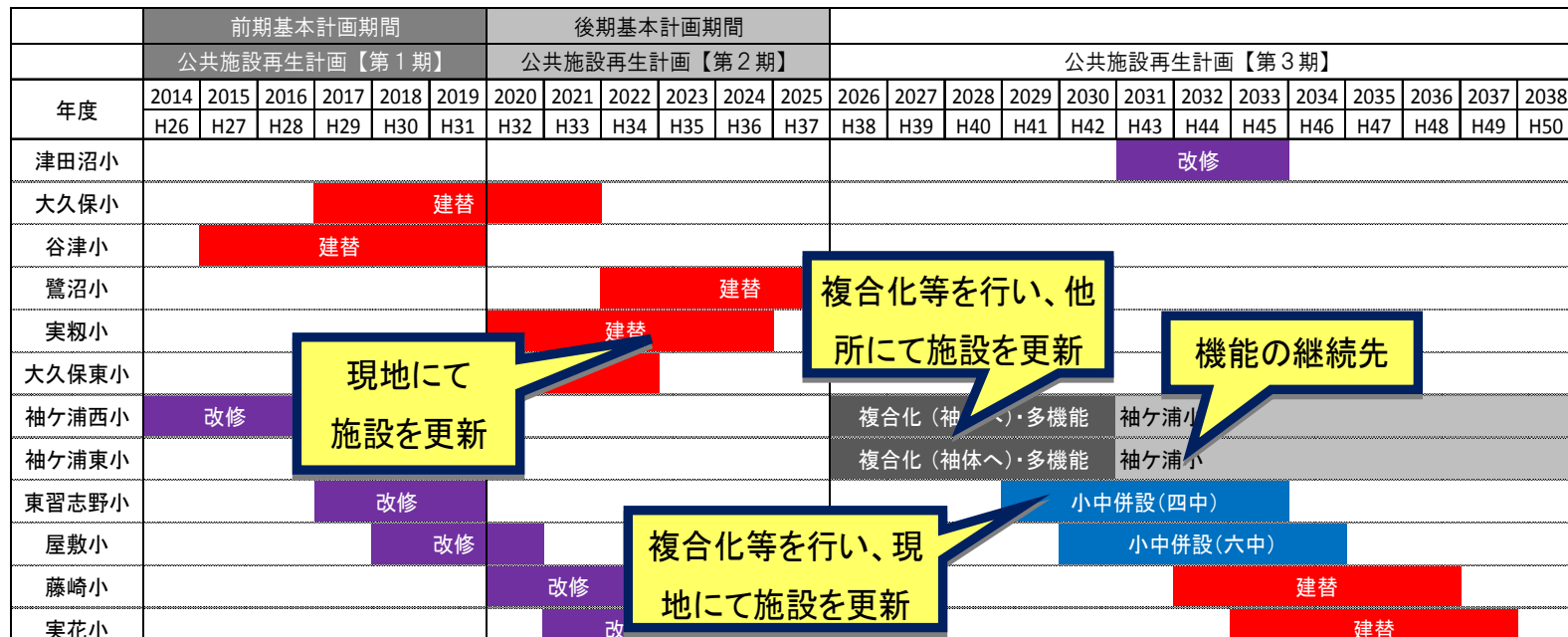
小学校を地域の拠点施設とし、施設更新に伴い、複合化可能な地域利用施設は複合化する。

地域利用施設



機能別アプローチに基づく再生事業計画

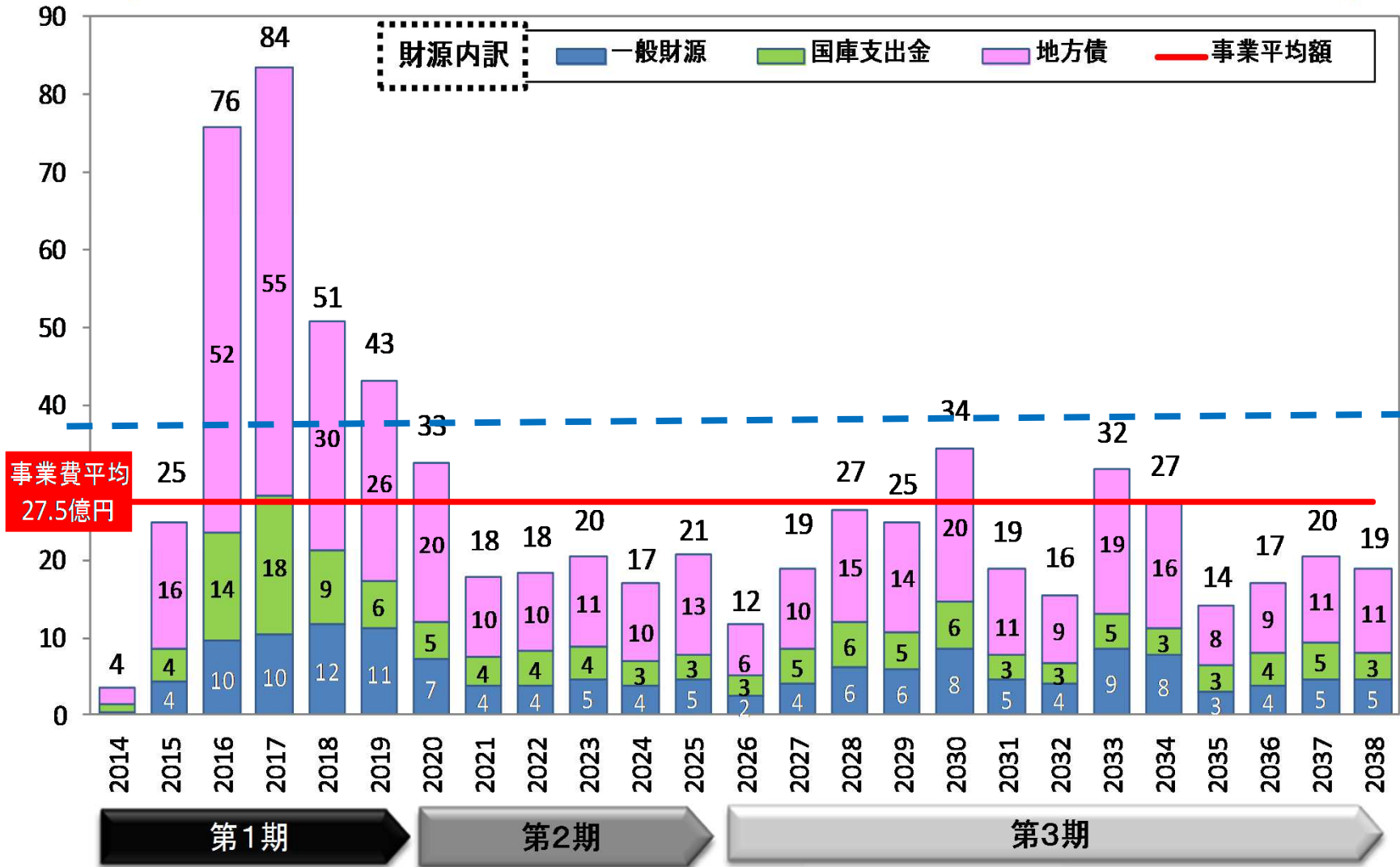
建替...建物を建て替える。リノベーションを含む。既存施設の機能について、原則的に複合化は行わない。
改修...計画的な（築造後20年、35年、50年）大規模改修。小破修繕は含まない。
複合（化）...2つ以上の機能を建替え等の際に、1つの建物に集約すること。
多機能...1つの空間を利用時間等で分けて、異なる用途の機能として利用する。
小中併設...小学校と中学校の一部機能を多機能利用する。
統合、機能統合...建物と機能を集約する。
私立化...施設を民間事業者の有償または無償譲渡し、機能を維持する。
地域移管...施設の運営及び維持を、町会、地域の運営委員会、NPO等に任せ、機能を維持する。市費による費用負担は行わない。



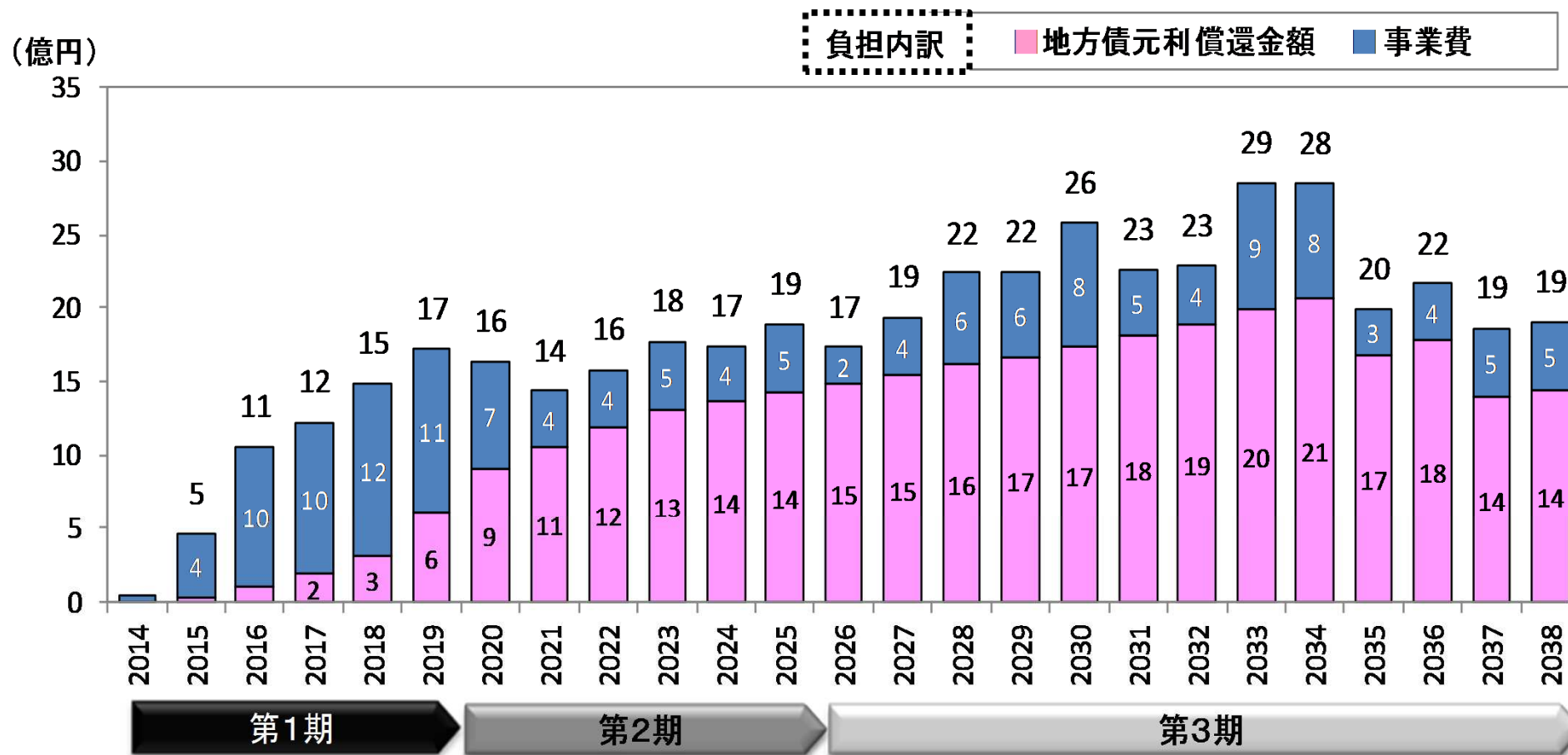
再生計画後の各年度事業費と財源内訳(ケース2)

(億円)

事業費総額688億円(現状比71%)



再生計画後の各年度一般財源負担額(ケース2)



②埼玉県 ふじみ野市
オールふじみ野未来政策会議の取り組み

公共施設の再配置をふくめ、未来のふじみ野市の政策づくりに、市民みずから参加し、それをデザインし、推進していく（平成22年から公開事業評価（事業仕分け）、平成25年から未来政策会議）

無作為抽出数千人の中から、手をあげた市民40名が参加

市民同士が政策を考え、それを公開の場で議論することを通じて、その成果を政策に反映させていく

②埼玉県 ふじみ野市 オールふじみ野未来政策会議の取り組み

【平成25年度】

事業の目的

ふじみ野市は、少子高齢化への対応と重複・分散・偏在する公共施設の再配置が地域課題となっている。その解決に向けて、旧県立福岡高校跡地(平成24年度末閉校)を最大限に利用した「子育て・健康・医療・介護・福祉の複合的な利活用方法」を検討した。

旧県立福岡高校跡地の県からの買収は検討段階であり、本業務を通じて多様なアイデア、手法等を検討し、その成果を今後の県との協議の参考とするが、全体を通してベッドタウンにおける地域再生モデルの実現を図るため、平成25年7月に初めて実施した「未来政策会議」を更に発展させ、政策、企画立案領域における公民連携システムの確立を目的として、取り組みを推進した。

検討過程

人材育成講座を受講したメンバーは、参加者の希望をアンケートで調査したうえで、各グループ6名～8名の6グループに分かれて、それぞれの分野での調査・検討を行った。

- チームA 公共施設再編成
- チームB 福岡高校跡地活用(1)
- チームC 福岡高校跡地活用(2)
- チームD 子育て(1)
- チームE 子育て(2)
- チームF 市民参加の仕組み

ふじみ野市の現状や課題、他の地域の先進事例調査、それらを持ち寄っての話し合いを重ねる中で、チームとしての政策提案づくりを進めた。

各チームでリーダー、サブリーダー、会計等の担当を決めて、自主的・主体的に活動を進めた。

全体で集まるミーティングのほか、各グループでサブミーティングを積み重ね、メールやSNS等を活用しながら、時間を調整しながらグループ内での作業を進めた。

必要に応じて、グループ同士のコミュニケーション、調整などを図りながら、「子育て・健康・福祉の複合活用」に向けた提案を作り上げていった。

検討のプロセスにおいては、年齢や経験、立場等の異なるメンバーの意見調整や進め方についての話し合いを行い、最後までグループをベースとした活動を行った。

3月16日の公開討論会に向けて、各グループの意見を吸い上げながら、研究会としての提案をまとめるために有志で「ワーキング」を設置し、最終的な提案内容を作成した。

事業の概要

「ふじみ野未来政策研究会(スクラムInふじみ野)」は、市民の方に、地域課題について考えられる知識や経験を積み、将来的には、自立・継続的に本市の地域課題に対する調査・解決策の検討を行って行くことができる市民パートナーの育成及び、公民連携システムの確立を目指し、市民参加による政策形成プログラムを実施した。

これまで市の取り組みにあまり参加できなかったという方々にも幅広くご参加いただきたいという主旨で、18歳以上の市民の方を対象とした無作為抽出により、3千人の方に参加募集の案内をしてメンバーへの呼びかけを行い、参加希望していただいた方から50名程度をメンバーに選出して、四か月に及ぶ活動を行った。

人材育成講座(全4回) および 未来政策会議(全8回)

政策提案を行うための基礎知識・先進事例等の情報収集、専門家・実務家からのアドバイス



(第1回) ワールドカフェ等によるニーズ把握



(第2回) NPO、社会課題解決の事業化の事例



(第3回) 公共施設の再配置・利活用・PPPの事例



(第4回) 地域シネクタンの役割・立ち上げ事例

情報・事例・意見交換を経て、政策提案づくり

政策提言へ

全8回の最終回の3月16日、それまでに積み上げてきた人材研修、政策提案づくりの活動の成果を、広く市民に向けて発信するために、「公開討論会」を開催した。

当日は、滋賀大学の石井良一教授による基調講演・未来政策研究会からの政策提言、それを踏まえた市民・フロアとの意見交換が行われた。

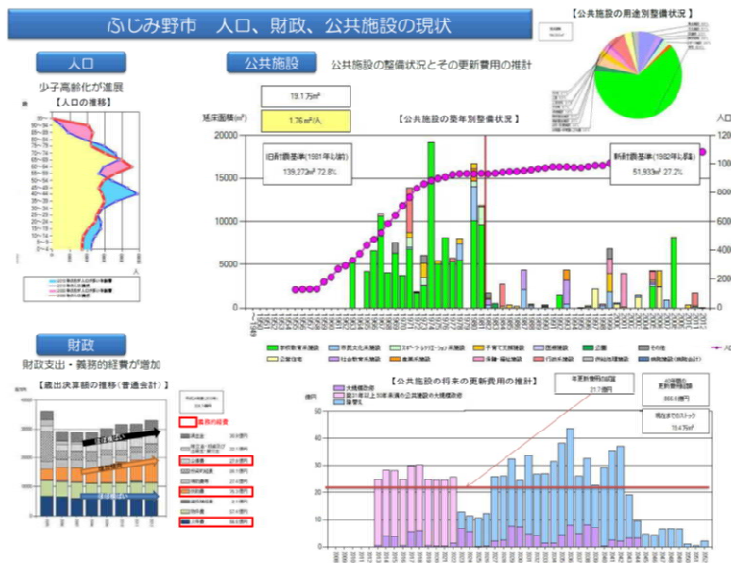
多くの市民が参加し、各グループのポスター発表を見たり、政策提案のプレゼンテーションを聞くことで、市民・地域の目線からの新しい高校跡地の利活用方策に関心を寄せていた。

②埼玉県 ふじみ野市 オールふじみ野未来政策会議の取り組み

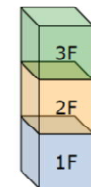
【平成25年度】

政策提言の内容

ふじみ野市の現状を踏まえて、「ふじみんの郷」というテーマで、複合的な福岡高校跡地活用の方策を提案した。



管理棟



乳幼児子育て支援ゾーン

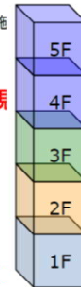
- 病後(回復期)児童・待機児童の一時預かり施設
- 夜間(22時まで)・休日の一時預かり施設
- 近隣都市にはまだない施設を

ふじみ野市で先駆けて実現

- 待機児童、潜在的待機児童の解消
- 病後回復期児童の看病支援
- 夜間帯や休日に預けられる場所を増やす

これにより、
**子育てしながら
働きやすい環境**

HR棟



ふじみ野市 現在・過去・未来館

ここにすれば『ふじみ野市のすべてがわかる』をコンセプトにふじみ野市 現在・過去・未来館として、ふじみ野市の現状、未来予測、大井町と上福岡市の歴史を学べるものとする。

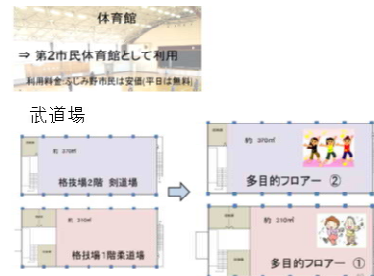
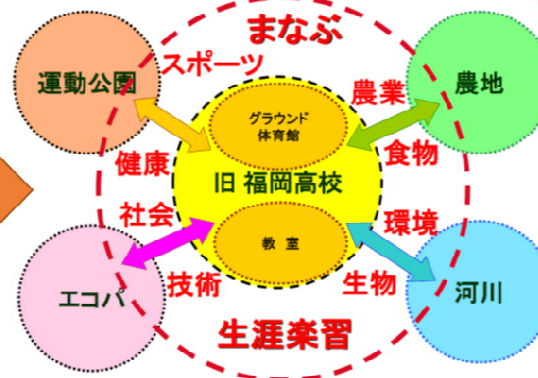
分立する大井と上福岡の資料館の統合は、真の意味での上福岡市と大井町の合併

スポーツをしにきた人たちも、ふじみ野の歴史、民俗、文化にも触れることができるよう、郷土資料館と民俗資料館を発展的に統合したふじみ野博物館として活用。ここ1箇所で大井町と上福岡市の歴史を学べるものとなる。

5. 私たちは福岡高校跡地を次のように活用することを提案します。

ふじみんの郷

- 1 スポーツ施設
- 2 親水公園
- 3 保育施設
- 4 市民活動センター
- 5 ふじみ野市現在・過去・未来館



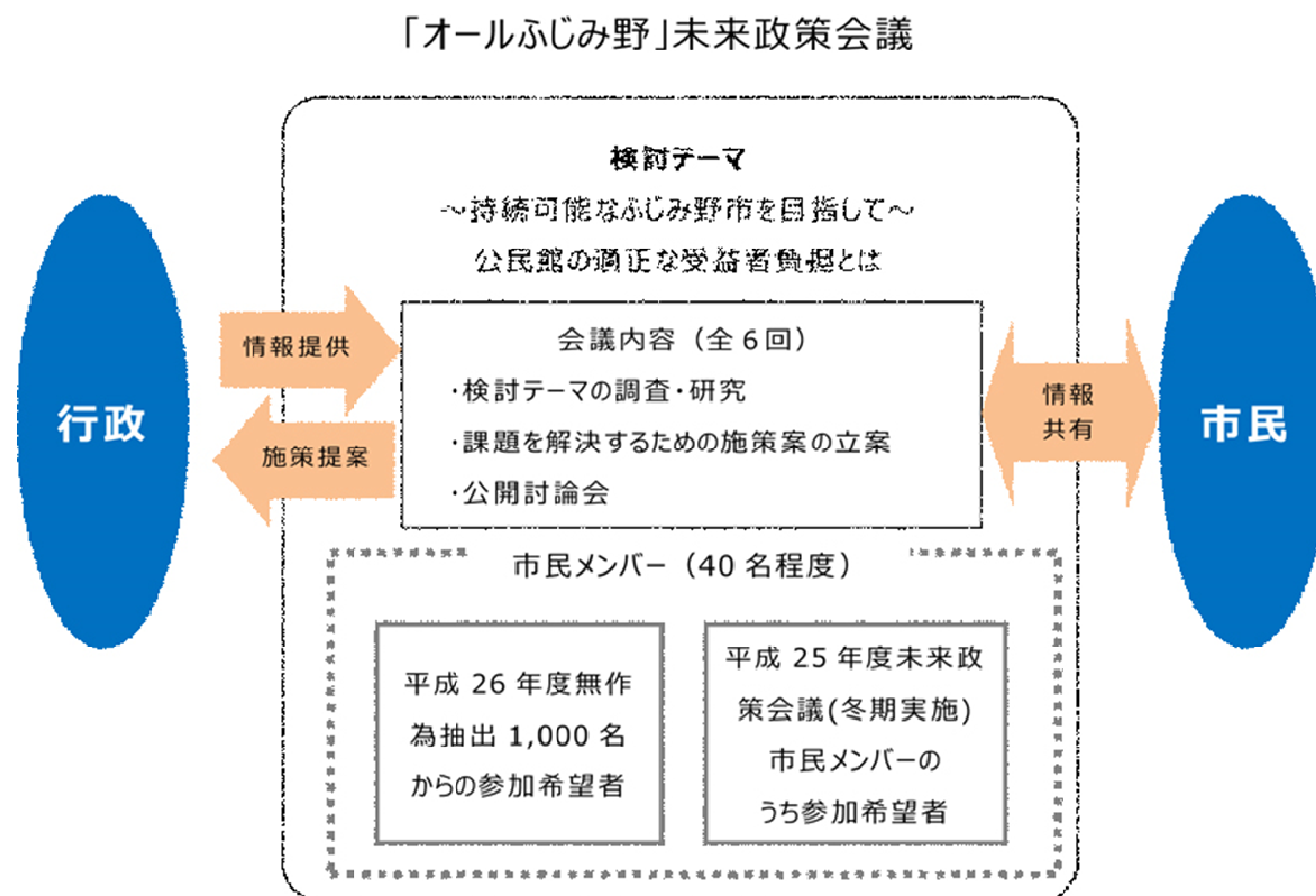
ニ 葦会館はレストランや配食サービスの拠点として利用



②埼玉県 ふじみ野市 オールふじみ野未来政策会議の取り組み

【平成26年度】

今年度は、厳しい財政状況の中で、老朽化した公共施設の修繕費用など施設の維持に伴う財政負担や運営管理経費が大きな行政課題であることから、検討テーマを「～持続可能なふじみ野市を目指して～公民館の適正な受益者負担とは」に設定し、市民メンバーの方に、さまざまな角度から検討を行っていただき、最終的には、適正な受益者負担のあり方について公開討論会を行います。



②埼玉県 ふじみ野市 オールふじみ野未来政策会議の取り組み

【平成26年度】

オールふじみ野未来政策会議の取り組み

- 第1回 平成26年7月9日(水曜日) 午後7時～午後9時
・市の概要(財政状況等)及び課題に関する説明
・テーマに関する意見交換
- 第2回 平成26年8月20日(水曜日) 午後7時～午後9時
・第1回会議の意見を踏まえた施策検討
- 第3回 平成26年9月24日(水曜日) 午後7時～午後9時
・第1回、第2回会議の意見を踏まえ、
各グループによる市内または市外の公民館への視察
- 第4回 平成26年10月8日(水曜日) 午後7時～午後9時
・施策立案及び発表案の作成
- 第5回 平成26年11月5日(水曜日) 午後7時～午後9時
・発表案の確認及び公開討論会に向けての
プレゼンテーション練習
- 第6回 公開討論会(本日)

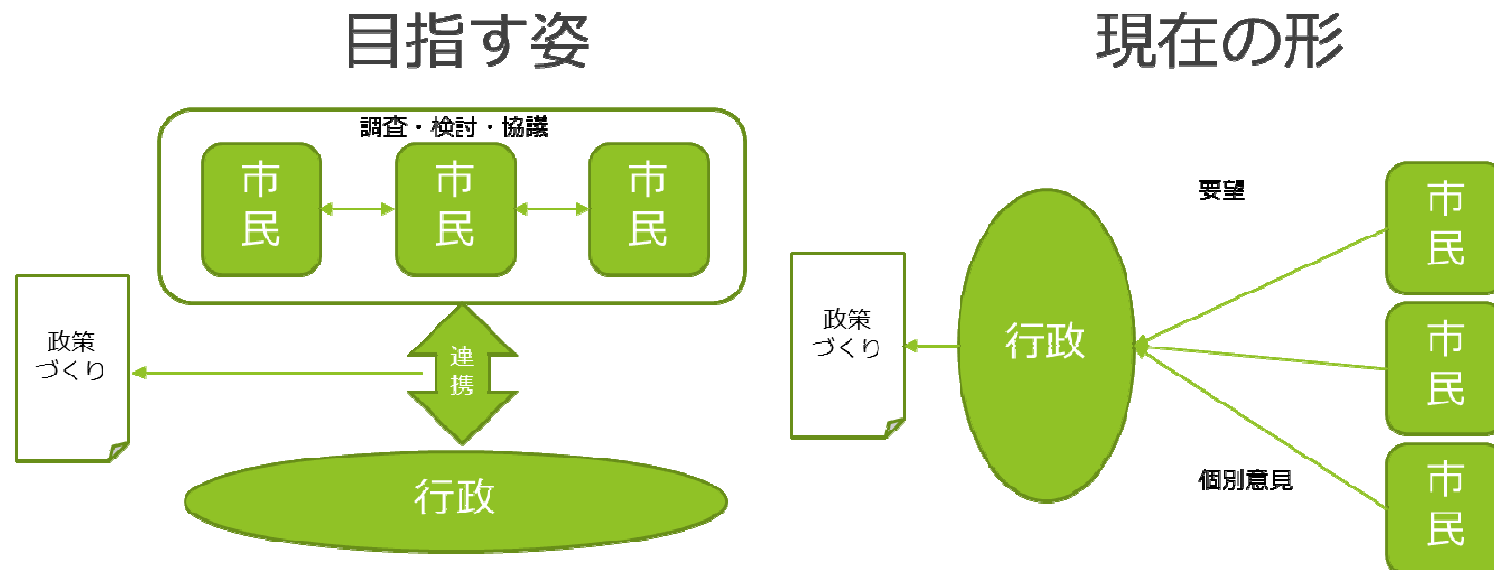


②埼玉県 ふじみ野市 オールふじみ野未来政策会議の取り組み

【平成26年度】

オールふじみ野未来政策会議の めざすもの

【市民共働による政策づくり】をめざす
市民同士の協議を参考に地域政策をつくっていく



②埼玉県 ふじみ野市
オールふじみ野未来政策会議の取り組み

平成26年度は、公民館のあり方、適正な受益者負担をテーマに公開討論を開催

各グループに分かれて、プレゼンテーションとディスカッションを実施

- A 受益者負担は必要
- B 業務委託や市民協働などによる
新しい運営方法を導入する
- C 受益者負担は不要

未来政策会議をフォローする会を設立。
実際の推進に着手。

4. 龍ヶ崎の未来にむけて市民ひとりひとりができること

あなたができることはなんですか？

家族でできることはなんですか？

仲間（自治会、お友達、グループ）でできることはなんですか？

龍ヶ崎市民全員でできることはなんですか？

そのために、行政、議会、企業、大学などとどのように協力しあうことができますか？

4. 龍ヶ崎の未来にむけて市民ひとりひとりができること

龍ヶ崎の未来をつくる
のはあなたです。

公共施設再編成をきっかけに、理想の龍ヶ崎をみんなで作っていきましょう。だれかにお願いしてもできませんが、自分がやれば、やった分だけ理想に近づきます。